



本当の自分を追い求めて 渚田安子「いつかたどり着いたら」

4月23日(土)、つなぎ美術館で画家の渚田安子さんの展覧会「いつかたどり着いたら」が始まり、同日に熊本県立美術館の林田龍太さんとの記念対談が開かれました。対談で渚田さんは「自分が思い描いた世界を感覚的に描きたい」と話していました。この展覧会は7月18日(月)までで、独自の表現を迫及した作品16点が展覧されています。



↑対談中、笑顔で話される渚田さん

ふるさとの味を中学生がアレンジ つなぎ寒漬フェア

5月9日(月)から「つなぎ寒漬フェア」が町内飲食店などの6店舗で始まりました。このフェアで使われている寒漬大根は中学生が作ったものです。生徒がふるさとの味である寒漬大根を町のために活用できないかと考え、レシピを地域の飲食店と考案しました。このフェアは6月30日(木)までです。各店自慢の料理を食べに来てください。



↑「かなり」で提供されている寒漬チャーハンセット

↓こいのぼりを設置した商工会青年部と商工会職員



津奈木の空を元気に泳ぎだす つなぎ温泉「四季彩」こいのぼり設置

4月16日(土)~5月11日(木)、商工会青年部がつなぎ温泉四季彩前でこいのぼりと町内保育園・幼稚園の園児が作ったのぼり旗を設置しました。これは、町の観光振興のために約20年前から始めたもの。商工会青年部長の大川貴哉さん(内野)は「コロナの影響で制限されている中、少しでも元気を届けられたら」と話していました。

↓目録を手渡す設置事業者の柴田敏博さん(ジオノート九州)



Cygames から防災照明が寄贈 令和2年豪雨災害復興支援

4月27日(木)、ゲーム開発などをする株式会社 Cygames から令和2年豪雨災害復興支援として防災照明2基が寄贈されました。津奈木小学校職員駐車場と中学校正門に1基ずつ設置。この防災照明は平時には児童生徒や町民を見守る防犯灯として、災害発生などの緊急時には避難時の安全確保や非常用電源として利用されます。



【写真説明】

1_8_ 応援合戦では両団長を中心に一糸乱れぬ迫力ある演舞を披露／2_ 一挙手一投足に気を配り臨んだ集団行動。保護者などから喝采を浴びた／3_ 仲間に思いを込めてバトンタッチ／4_ 力強く描かれた応援パネル／5_ はじける笑顔で津奈木小唄を踊る／6_ 力を出し切ってゴール／7_ 優勝旗を受け取る赤団副団長の鶴野凜音さん(丸岡)

津奈木中学校体育大会

全員で創り上げた物語

5月22日(日)、津奈木中学校体育大会が同校グラウンドで開かれました。昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響でプログラムを縮小し、午前中のみの開催。「考動 創りだそう新たな物語」全員で織り成す体育大会」というテーマのもと、全校生徒105人が全力で競技に臨みました。

開会式では、船場校長が「生徒一人ひとりが自分の夢に向かって挑戦する姿勢を忘れることなく、力を合わせて大会を盛り上げてほしい。そして心も体もたくましく成長してほしい」とあいさつ。

赤団長の濱田アンリさん(平国下)、白団副団長の村上あれんさん(平国下)の堂々とした選手宣誓から始まり、ダンスや集団行動、全員リレーなど10種目の競技で熱戦が繰り広げられました。

ことはは赤団が優勝し、団長の濱田さんは「練習期間が短い中、全員一丸となって一生懸命練習に取り組んだ。本番でも全力を出し切り優勝をつかみ取ることができてとてもうれしい。中学最後の体育大会としてふさわしい最高の思い出になった」と笑顔で話していました。

練習の成果をじゅうぶんに発揮し、迫力ある姿を見せた生徒たち。会場は大いに盛り上がりました。